

平成28年度 明石市地域自立支援協議会

くらし部会 レポート Vol.20 平成29年3月16日

発行元：明石市地域自立支援協議会 くらし部会事務局（明石市基幹相談支援センター）

住所：明石市貴崎 1 丁目 5 番 13 号（明石市立総合福祉センター 1 階）

電話番号 078-923-9155 ファクシミリ 078-923-9156

【意見投稿用アドレス】 akashi_jiritsushien@yahoo.co.jp

会員専用のメールアドレスをご用意していますので、皆様からの情報提供やご意見をお待ちしています。

今号では、今年度から新たに立ち上げたワーキンググループ「生活介護事業者連絡会」の活動について、くらし部会副部長で、当ワーキングリーダーの山崎信吾さん（にじの空）からご報告いただきます。

生活介護というと、皆さん、どのような活動をしていると想像されるでしょうか。生活介護の事業に関わる者の間でも、事業所ごとに行っている活動が違ったり、イメージも区々であったりします。そのような生活介護の事業所が日々の支援や、疑問点、悩んでいる事、由無し事を話し合う機会を設けてはどうかという事で、生活介護事業者連絡会なるものを H28 年度のくらし部会の中に設定し、本年度は3回のワーキングの会議を開きました。



1 回目は、顔合わせと事業所が抱えている悩みや問題点を思うままに挙げていただきました。初めてという事で、忌憚のない意見を出し合うところまでは行きませんでした。人材不足の事、支援項目に関する事、利用者ニーズと事業所のキャパシティの差など、共通する悩みや問題が多く出てきました。

2 回目は特定の議題の下で話をしようと企画し、事業所によって書式の異なる個別支援計画の事、各事業所の取り組みなどを話し合いました。個別支援計画を

1 週間ごとに利用者と共に振り返り、評価をしていくといった独自の取り組みをしている事業所や、計画を作る際に注意している事や難しい事等を共有しました。普段見る事の少ない他の事業所の個別支援計画の立案状況や書式を見ることができ、良い経験だったのではと思っています。

3 回目は、事前に事業所の問題点を洗い出し、ダイアグラムにしたもので点数表記をしていきました。事業所によって、強み、弱みの点数は様々でしたが、膝を突き合わせて話をしてみると、その内容や、イメージしている事は近いものがあると感じました。その中で、共通して感じている点として、就労系の事業所の様に、工賃や就職といった明確な達成度がないため、評価の方法が非常に曖昧であるといった点や、機能訓練などに専門職を雇いたいが、その余裕はないといった事が出てきました。

詳細は未定ですが、今後は、作業療法士会等と連携して事業所で行えるレクリエーションの開発などを通し、日々の支援の引き出しを多く作ることや、障害者が利用しやすい店舗等の情報共有や開拓が出来ればいいのではないかと考えた意見が挙がってきました。

まだ出帆したばかりのワーキングで、具体的な取り組みはこれからです。市内の生活介護事業所の数も多くない中での活動となり、色々と困難な事も出てくると思われませんが、楽しく建設的で、今後の支援の役に立つワーキング活動にしていければと考えています。

